DVI/HDMI用ツイストペアケーブル延長送信器

KE101ET

取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品をご使用される前に必ずお読みください。

ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
お読みになった後は、必ず製品の近くの見やすいところに大切に保管してください。

⚠ 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

● 必ずしてほしい行為
（強制、指示行為）を示す記号

指示

電源プラグをコンセントから抜く

● してはいけない行為
（禁止行為）を示す記号

禁止

水ぬれ禁止

水場での使用禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

● 万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

⚠ 警　告

◆次のような異常が発生したときは、すぐに使用をやめてください

火災や感電の原因になります。
・煙が出ている、へんな臭いや音がするなどの異常のとき。
・内部に水や物が入ってしまったとき。
・落としたり、カバーが破損したとき。
・電源ケーブルが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。
このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。
お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

◆不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてケガの原因となります。

◆表示された電源電圧（交流１００Ｖ）以外で使用しないでください

火災や感電の原因となります。

◆内部に物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどが入ると、
火災や感電の原因となります。

◆ぬらさないでください

火災や感電の原因となります。

◆雷が鳴り出したら、電源ケーブルや本体に さわらないでください

感電の原因となります。

◆本体のカバーは外したり、改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
内部の点検・修理の際は、本製品を設置した業者または当社にご連絡ください。

◆電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください

ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。

◆電源ケーブルを傷つけないでください

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・電源ケーブルを加工しない。
・電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電源ケーブルの上に本体や重いものをのせない。
・電源ケーブルを熱器具に近づけない。

⚠ 注 意

◆次のような場所には置かないでください

火災、感電の原因となることがあります。
・湿気やほこりの多いところ
・油煙や湯気のあたるところ
・熱器具の近くなど
・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

◆通風孔をふさがないでください

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

◆移動する時は、電源プラグや接続ケーブル類をはずしてください

接続したまま移動するとケーブルに傷がつき、
火災や感電の原因となることがあります。

◆ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

◆本製品の上に重い物を置かないでください

重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。

◆長時間使用しないときは電源プラグを コンセントから抜いてください

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因となることがあります。

◆電源プラグは電源ケーブルの部分を持って抜かないでください

電源ケーブルを引っ張ると電源ケーブルに傷がつき、火災・感電の
原因となることがあります。電源プラグの部分を持って抜いてください。

◆他の機器と接続する時は、それぞれの取扱説明書に 従ってください

指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、
火災・やけどの原因となることがあります。

◆お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから 抜いてください

感電の原因となることがあります。

目次

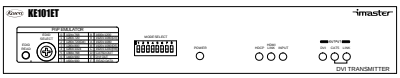
1.本製品について..... 6
1-1.製品構成..... 6
1-2.製品概要..... 7
1-3.特長..... 7
1-4.ブロック図..... 7
1-5.使用例..... 7
2.各部の名称と機能..... 8
2-1.前面パネル..... 8
2-2.背面パネル..... 9
3.ケーブルの接続..... 10
3-1.ツイストペアケーブルの接続にあたっての注意及び警告事項..... 10
3-2.ツイストペアケーブルの準備..... 11
3-3.RS-232C ケーブルの接続..... 12
4.プラグアンドプレイエミュレータ..... 13
4-1.EDID データの選択..... 13
4-2.EDID データの読み取り..... 13
5.DIP スイッチによる設定について..... 14
5-1. EDID データ　DVI/HDMI 切替..... 14
5-2.長距離モード..... 14
5-3.KE101ER 設定モード..... 15
6.当社製ツイストペアケーブル受信器との接続について..... 16
7.本製品の固定について..... 16
8.仕様..... 17
9.こんなときは..... 18

1. 本製品について

1-1. 製品構成

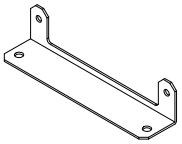
本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お使いになる前に必ず本取扱説明書をお読みになり、本製品に関してご理解いただいた上でお使いください。また、梱包内容を確認し、本体と全ての付属品が入っていることをご確認ください。

本製品の梱包内容

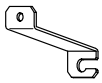


KE101ET(本体)

付属品



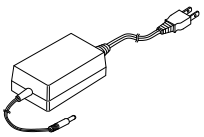
本体固定金具 2 個



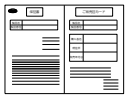
DC プラグ固定金具 1 個

固定ネジ 4 個

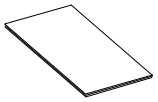
ゴム足　4 個



専用 AC アダプタ 1 個



保証書　1 通



取扱説明書 1 冊(本書)

■商標について

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。また、各社の商標、製品商標に関しては特に注記のない場合でも、十分にこれを尊重いたします。

1-2. 製品概要

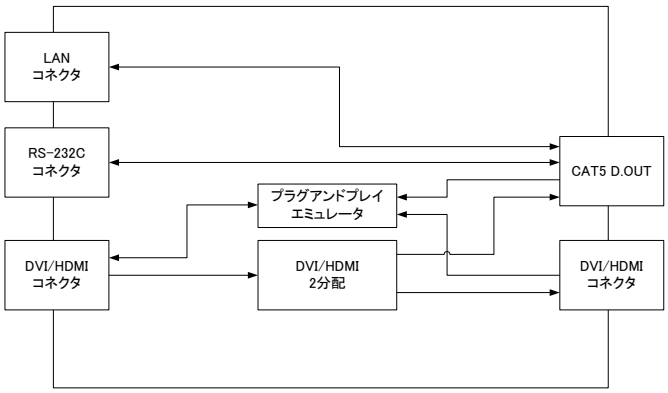
本製品は、DVI/HDMI 信号、RS-232C 信号、100Mbps までの LAN 信号を CAT5e(STP)/CAT6 ケーブルを用いて、最長 180 m※1 まで延長可能な DVI/HDMI 用ツイストペアケーブル延長送信器です。HDCP に対応しているため、著作権保護された信号も延長することができます。また、本製品は小型・軽量・省エネ設計であるため、様々な場所に設置することができます。

1-3. 特長

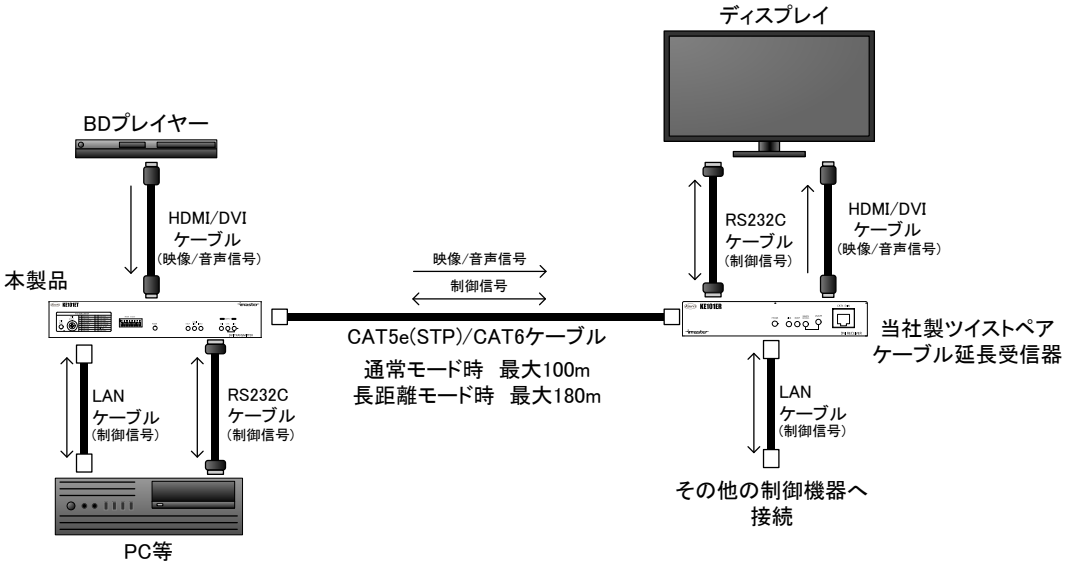
・DVI/HDMI 信号、RS-232C 信号、100Mbps の LAN 信号を CAT5e(STP)/CAT6 ケーブルにて最大 180 m※1 延長可能
・DVI/HDMI 信号のバッファ出力を搭載
・HDCP 対応
・EDID エミュレータ機能搭載
・延長信号の信号品質を LINK LED にて 3 段階で表示
・当社製のツイストペアケーブル延長送信器/受信器と接続可能 ※2
・小型、軽量、省エネ設計

※1　長距離モード時、720p/60Hz、1080i/60Hz、1366×768/60Hz 以下の解像度となります。詳細は“5-2. 長距離モード”を参照してください。
※2　接続可能な機種については、“6. 当社製ツイストペアケーブル受信器との接続について”を参照してください。

1-4. ブロック図

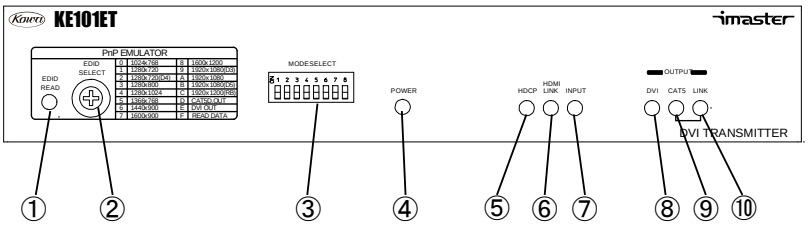


1-5. 使用例



2.各部の名称と機能

2-1.前面パネル



① EDID READ スイッチ

DVI/HDMI 出力に接続された機器から EDID データを読み取る場合に使用します。詳しくは“4.プラグアンドプレイエミュレータ”を参照してください。

② EDID SELECT スイッチ

プラグアンドプレイエミュレータの EDID データの切り替えを行います。詳しくは“4.プラグアンドプレイエミュレータ”を参照してください。

③ MODE SELECT スイッチ

本製品の動作モードを設定するスイッチです。EDID データの DVI/HDMI 切り替えや、長距離モードへの切り替えを行います。詳しくは、“5.DIP スイッチによる設定について”を参照してください。

④ POWER LED

本製品が通電している場合、LED が点灯します。また、EDID SELECT スイッチで“READ DATA”選択時、保存データがない、または読み取り中の場合は点滅します。

⑤ HDCP LED

本製品に HDCP によって保護された DVI/HDMI 信号が入力され、HDCP 認証が成功している場合に点灯します。

⑥ HDMI LINK LED

本製品は DVI/HDMI 信号を監視しており、何れかの出力から DVI/HDMI 信号を出力している場合にこの LED が点灯します。

⑦ INPUT LED

DVI/HDMI 入力に機器が接続されていることを示します。入力に接続された機器から供給される 5V 電源を検出して点灯し、5V 電源が検出されない場合には消灯します。

⑧ DVI LED

DVI/HDMI 出力から DVI/HDMI 信号を出力している場合に点灯します。

⑨ CAT5 LED

CAT5 D.OUT 出力から DVI/HDMI 信号を出力している場合に点灯します。

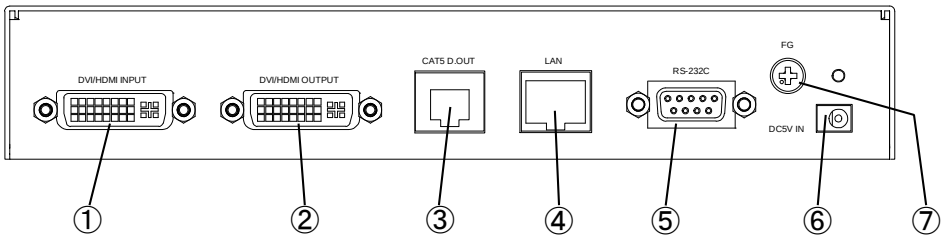
⑩ LINK LED

本製品と接続する当社製ツイストペアケーブル受信器とのリンク状態とその信号品質を表示します。

LED の点灯状態	リンク品質	詳細
消灯	リンクなし	リンクが確立していない状態です。
赤色点灯	低	リンク品質が低い状態です。この状態では時々映像が途切れるなどの現象が発生する可能性があるため、ツイストペアケーブルを品質の良いものに変更する、延長距離を短くする、長距離モードを使用する、などの対応が必要になります。
オレンジ色点灯	並	これらの状態ではリンク品質に特に問題はありません。
緑色点灯	良い	

また、受信器がローパワーモードに対応していると、映像信号が途切れた場合に LINK LED がオレンジ色の点滅状態となり、本製品もローパワーモードとなります。この状態でも RS-232C/LAN 等の制御信号の通信は可能です。

2-2. 背面パネル



① DVI/HDMI 入力コネクタ(DVI-I コネクタ)

DVI/HDMI 信号を入力するコネクタです。接続するケーブル長は 2m 以内としてください。DVI 信号は、シングルリンク ドットクロック 165MHz までの映像信号の伝送ができます。アナログ線は未接続ですので、アナログ映像信号は延長及びバッファ出力はできません。

② DVI/HDMI 出力コネクタ(DVI-I コネクタ)

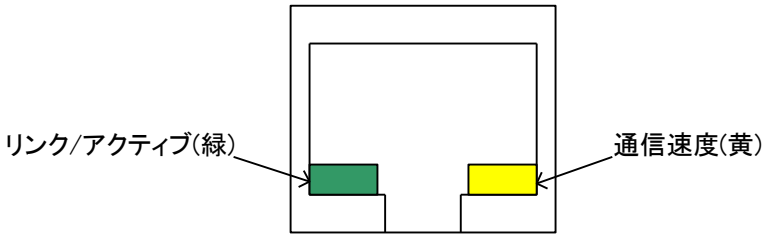
DVI/HDMI 信号を出力するコネクタです。DVI/HDMI 入力コネクタに入力された映像信号をバッファ出力します。接続するケーブル長は 2m 以内としてください。

③ CAT5 D.OUT 出力コネクタ(RJ-45)

当社製ツイストペアケーブル受信器と接続することにより、DVI/HDMI 信号、RS-232C 信号、100Mbps までの LAN 信号を CAT5e(STP)/CAT6 ケーブルで最大 180 m 延長することができます。ケーブル結線については、“3. ケーブルの接続”を参照してください。また、接続可能な機器については“6. 当社製ツイストペアケーブル延長器との接続について”を参照してください。

④ LAN コネクタ(RJ-45)

LAN ケーブルを接続します。送受信器間で、最大で 100Mbps までの LAN 通信が可能です。Auto MDI/MDI-X 機能に対応しています。また、コネクタの LED は通信の状態を表します。



LED	LED 状態	LAN 通信状態
リンク/アクティブ	消灯	リンクなし
	点滅	リンクありで TX/RX アクティブ
	点灯	リンクあり
通信速度	消灯	10Mbps
	点灯	100Mbps

⑤ RS-232C コネクタ(DSUB9 ピン　オス座　インチネジ)

RS-232C ケーブルを接続します。送受信器間で、最大で 38,400bps のシリアル伝送が可能です。ケーブルの結線については、“3-3. RS-232C 信号ケーブルの接続”を参照してください。

⑥ DC5V IN

付属の専用 AC アダプタを接続します。

⑦ FG

アースを接続してください。

3. ケーブルの接続

3-1. ツイストペアケーブルの接続にあたっての注意及び警告事項

◆注意

・“8. 仕様”に記載されている最大延長距離を上回りますと、映像や通信が途切れることがあります。最大延長距離以上でのご使用は、当社のサポート対象外となりますのでご注意ください。
・本製品には、当社確認済みツイストペアケーブルのご使用をお勧め致します。また、その他のツイストペアケーブルをご使用する際にはツイストペアケーブルの特性に注意し、十分にご理解いただいた上でご使用ください。
・ノイズの多い AC 電源に本体を接続すると、伝送に障害の発生する場合があります。この場合は AC コンセント型のノイズフィルタ等を用いて、正常な電源でご使用ください。

◆警告

・CAT5 D.OUT コネクタには対応製品以外絶対に接続しないでください。本製品および相手機器が故障する原因となります。またその場合に発生した損害に対して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

◆ツイストペアケーブル配線工事の注意点

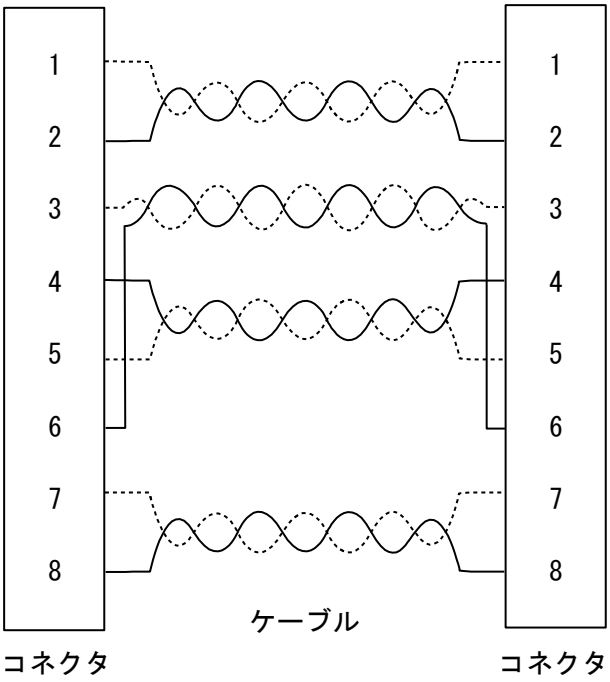
・ツイストペアケーブルを強く引っ張らないでください。
・ツイストペアケーブルはゆるやかに曲げてください。
・ツイストペアケーブルの結線はきつくしないでください。
・ノイズ源からは隔離してください。電源ケーブル等のノイズ源には近接させないでください。
・送信器―受信器間は、1 本のツイストペアケーブルで接続していただくことを推奨します。延長距離が長い場合にケーブルの途中に中継コネクタ等を使用すると、伝送に障害がでる可能性がありますので、中継コネクタ等をご使用になる場合は、ケーブル敷設を行う前に事前の動作確認をしていただくことを推奨します。
・送信器―受信器間のツイストペアケーブルを束ねたり、折りたたまないでください。信号が干渉して伝送できない場合があります。また、他のケーブルと束ねることも伝送に障害の出る可能性があるので、お避けください。ツイストペアケーブル延長器を複数セットでご使用になる場合も、ツイストペアケーブル同士が長距離にわたり近接しないように、少しでも離して敷設してください。設置現場の状況により、長距離にわたり近接して敷設する必要がある場合には STP ケーブルをご使用ください。UTP ケーブルよりも STP ケーブルの方が干渉や外部ノイズに強い傾向があります。
・ツイストペアケーブルは、ストレートケーブルを使用してください。
・送受信器間をツイストペアケーブルで接続した後、専用 AC アダプタを接続します。本製品に電源スイッチはありません。

参考データ

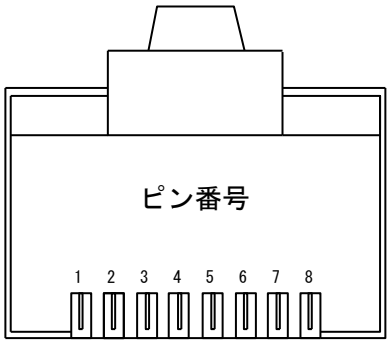
当社確認済みツイストペアケーブル					
メーカー	規格	型名	ケーブル直径	最小曲げ半径	引っ張り強度
岡野電線	CAT5e(STP)	OKTP-E5-0.5X4P-SA	約 6.5mm	51mm	110N(11.21kgf)以下
	CAT6(UTP)	OKTP-6-AWG24X4P	約 6.5mm	24mm	110N(11.21kgf)以下

3-2. ツイストペアケーブルの準備

送信器―受信器を接続するツイストペアケーブルには、CAT5e(STP)またはCAT6 ケーブルを使用し、ストレートに結線します。以下にストレート結線図を示します。



1,2・・・ペア1
3,6・・・ペア2
4,5・・・ペア3
7,8・・・ペア4



一般によく使用される配線(TIA/EIA-568B)を以下に示します。

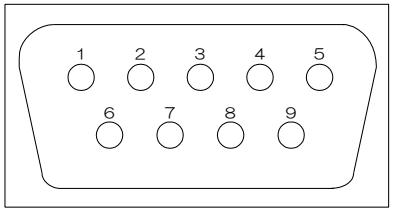
TIA/EIA-T568B(ストレート)

1番ピン	白(橙)	----------	1番ピン　白(橙)
2番ピン	橙	――――――	2番ピン　橙
3番ピン	白(緑)	----------	3番ピン　白(緑)
4番ピン	青	――――――	4番ピン　青
5番ピン	白(青)	----------	5番ピン　白(青)
6番ピン	緑	――――――	6番ピン　緑
7番ピン	白(茶)	----------	7番ピン　白(茶)
8番ピン	茶	――――――	8番ピン　茶

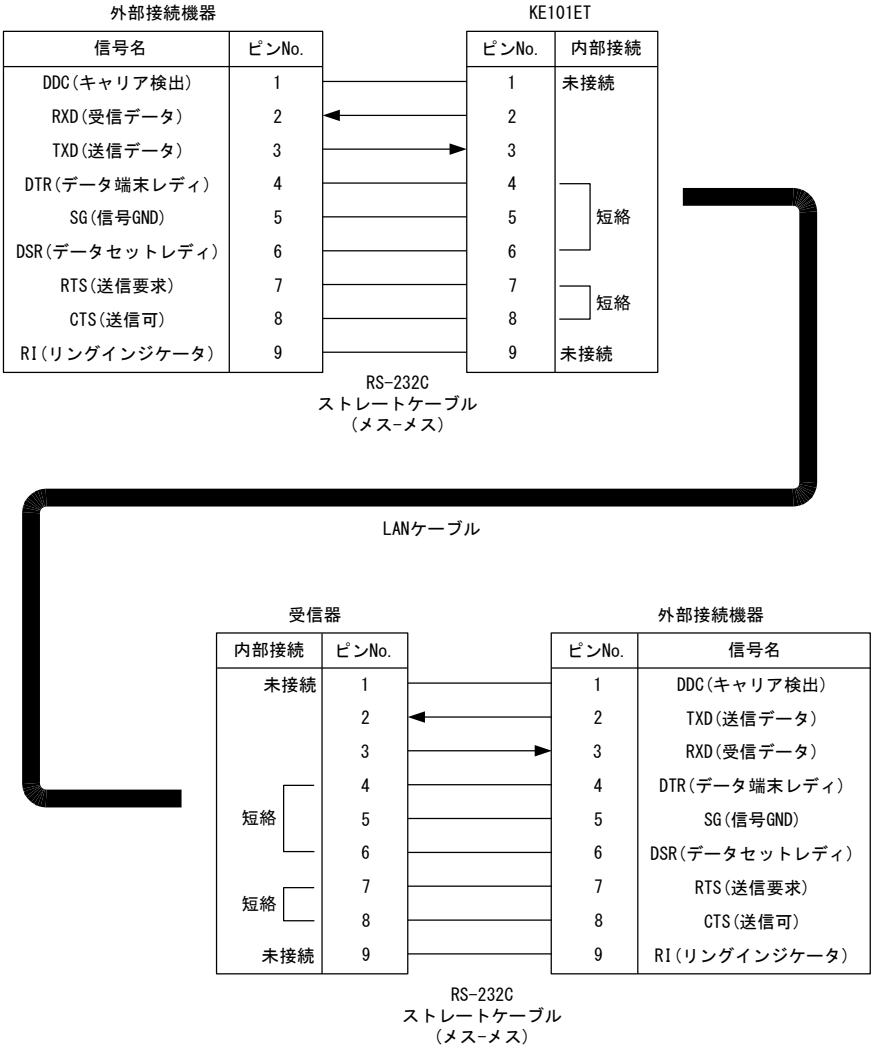
3-3. RS-232C ケーブルの接続

本製品の RS-232C コネクタは以下のように内部接続されています。

コネクタピンアサイン



RS-232C 信号の流れ



本製品を送信器―受信器の組み合わせで使用した場合、前後の RS-232C ケーブルはストレートケーブルを使用することを想定した設計となっています。PC とモデム/プリンタ等とを接続する場合は、ストレートケーブルを使用してください。PC と PC とを接続する場合、受信器―PC 間にクロスケーブルを使用してください。最大ビットレートは 38,400bps となります。

4. プラグアンドプレイエミュレータ

本製品はプラグアンドプレイエミュレータを搭載しており、26 種類の内蔵 EDID データを選択可能なほか、延長先の受信器に接続された機器の EDID データ、DVI/HDMI 出力コネクタに接続された機器の EDID データ、DVI/HDMI 出力コネクタに接続された機器から読み取った EDID データも選択することができます。

4-1. EDID データの選択

EDID データの選択は、本体前面の EDID SELECT スイッチで行います。選択可能な EDID データ解像度を以下に示します。出荷時設定は、“B：1920x1080(D5)”となっています。

No.	EDID データ解像度	No.	EDID データ解像度
0	1024x768	8	1600x1200
1	1280x720	9	1920x1080i(D3)
2	1280x720(D4)	A	1920x1080
3	1280x800	B	1920x1080(D5)
4	1280x1024	C	1920x1200(Reduced Blanking)
5	1366x768	D	CAT5 D.OUT
6	1440x900	E	DVI OUT
7	1600x900	F	READ DATA

No.0～C までの内蔵 EDID 解像度データは、HDMI データと DVI データを切り替えることができます。切り替えは前面 DIP スイッチの No.1 のスイッチで行います。詳しくは“5-1. EDID データ DVI/HDMI 切替”を参照してください。

4-2. EDID データの読み取り

本製品は、DVI/HDMI 出力コネクタに接続した機器の EDID データを読み取り、本体に保存して使用することができます。EDID データの読み取りは以下の手順で行います。

・EDID SELECT スイッチを“READ DATA”に設定します。
・DVI/HDMI 出力コネクタに EDID データを読み取りたい機器を接続します。
・EDID READ スイッチを押します。

正常に EDID データ読み取れた場合は、“READ DATA”選択時に、POWER LED が点灯状態となります。読み取りに失敗したり、データがない場合は、POWER LED が点滅状態となります。また、保存した EDID データを消去したい場合は、EDID READ スイッチを 3 秒間以上長押ししてください。

5.DIP スイッチによる設定について

本製品の前面パネルの DIP スイッチには以下の機能が割り当てられています。出荷時は No.2 を除き、全て OFF となっています。

DIP スイッチ No.	機能
No.1	EDID データ　DVI/HDMI 切替
No.2	長距離モード
No.3	KE101ER 設定モード
No.4	
No.5	
No.6	リザーブ(OFF でご使用ください)
No.7	リザーブ(OFF でご使用ください)
No.8	リザーブ(OFF でご使用ください)

5-1. EDID データ　DVI/HDMI 切替

EDID SELECT スイッチで選択した内蔵 EDID データを、HDMI データとするか、DVI データとするかを設定します。OFF で HDMI データ、ON で DVI データとなります。出荷時設定は OFF となります。

5-2.長距離モード

本製品は当社製ツイストペアケーブル受信器 KE101DR2 / KE101ER と組み合わせて使用する場合、長距離モードを使用することができます。長距離モードを有効にするには、DIP スイッチの No.2 を ON にした後に、本製品の電源を入れます。

長距離モードでは伝送する映像信号の解像度により、最長 180 m まで最大延長距離を延ばすことができます。長距離モード時の伝送解像度と延長距離の目安を以下に示します。

伝送解像度	延長距離の目安
640 × 480/60Hz 、 800 × 600/60Hz 、 1024 × 768/60Hz 、 1280 × 720/60Hz、1280×768/60Hz、1280×800/60Hz、1360×768/60Hz、1366×768/60Hz、480i/p、576i/p、720p、1080i、1080p/24Hz	180 m 以下
640 × 480/60Hz 、 800 × 600/60Hz 、 1024 × 768/60Hz 、 1280 × 720/60Hz、1280×768/60Hz、1280×800/60Hz、1360×768/60Hz、1366×768/60Hz、1280×960/60Hz、1280×1024/60Hz、1400×1050/60Hz、1440×900/60Hz、1600×900/60Hz、1680×1050/60Hz、1920×1080/60Hz、480i/p、576i/p、720p、1080i、1080p/24Hz、1080p	150 m 以下
1920×1200(RB)/60Hz、1600×1200、1080p(Deep Color)	長距離モードでは、伝送距離が短い場合でも伝送できません。これらの信号を伝送する場合は、通常のモードに設定し、100 m 以内でご使用ください。

注意!　長距離モードでは DeepColor の映像信号の伝送はできません。

5-3.KE101ER 設定モード

本製品はDVI/HDMI 用ツイストペアケーブル延長受信器KE101ER と接続して使用している場合、KE101ER の設定を本製品の側から行うことができます。機器設置後は受信器であるKE101ER はメンテナンスが困難な場所に設置されることが多いため、設置後にKE101ER の設定を変更する必要が生じた場合にこの機能を使用することで、KE101ER を直接操作する必要なく設定の変更を行うことができます。
本製品からは、外部制御機能のON/OFF、RS-232C 経由の各種設定の変更を行うことができます。

・KE101ER の外部制御機能のON/OFF

KE101ER にはLINK 状態を監視し、LINK の確立/切断により、PJLink またはシリアルコマンドを発行する外部制御機能がありますが、この機能のON/OFF の切替を本製品の側から行うことができます。切替は以下の手順で行います。

① 本体前面のDIP スイッチNo.3 をON にします。
これにより、本製品がKE101ER の外部制御機能の切替を行うことのできるモードとなります。

② 本体前面のDIP スイッチNo.4 を操作します。
①の状態になると、KE101ER の外部制御機能のON/OFF 状態が、本製品のDIP スイッチNo.4 の状態と同期しますので、DIP スイッチNo4 を操作し、KE101ER の外部制御機能のON/OFF 状態を変更します。

③ 本体前面のDIP スイッチNo.3 をOFF に戻します。
DIP スイッチNo.3 をOFF に戻すと、本製品が通常状態に戻り、KE101ER の外部制御機能のON/OFF 状態も確定します。

・RS-232C による各種設定

KE101ER はLAN、またはRS-232C コネクタより各種設定の変更を行うことが可能ですが、本製品のRS-232C コネクタを経由して、各種設定を変更することが可能です。以下の手順で行います。

① 本体前面のDIP スイッチNo.5 をON にします。
これにより、本製品のRS-232C コネクタがKE101ER に接続され、本製品のRS-232C コネクタ経由でKE101ER の各種設定が行えるようになります。RS-232C のボーレート、パリティ、ストップビット長は、KE101ER の外部制御用のRS-232C コネクタの設定に従います。RS-232C コネクタ経由で行えるKE101ER の各種設定、コマンドについては、KE101ER の取扱説明書を参照してください。

② 本体前面のDIP スイッチNo.5 をOFF に戻します。
これにより本製品のRS-232C コネクタとKE101ER との接続が解除され、本製品が通常状態に戻ります。

6. 当社製ツイストペアケーブル受信器との接続について

本製品と接続可能な当社製ツイストペアケーブル受信器を以下に示します(2013 年 12 月現在)。

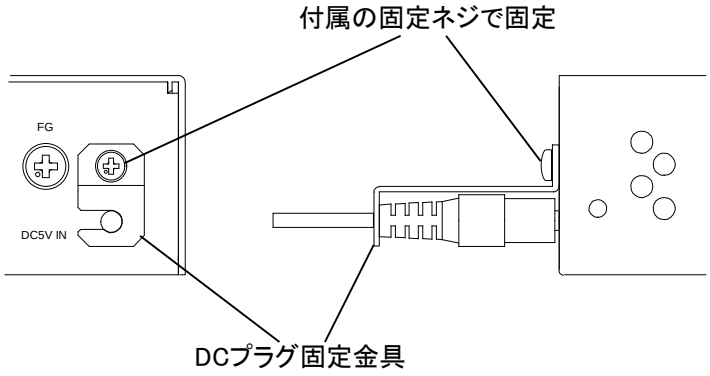
①ツイストペアケーブル受信器	KE101ER / KE101DR2 / KE101DR
②ツイストペアケーブル受信ボード	KE101HB

ただし、HDCP で保護された DVI 信号の伝送、及び長距離モードが使用できるのは KE101ER / KE101DR2 と接続した場合のみとなります。

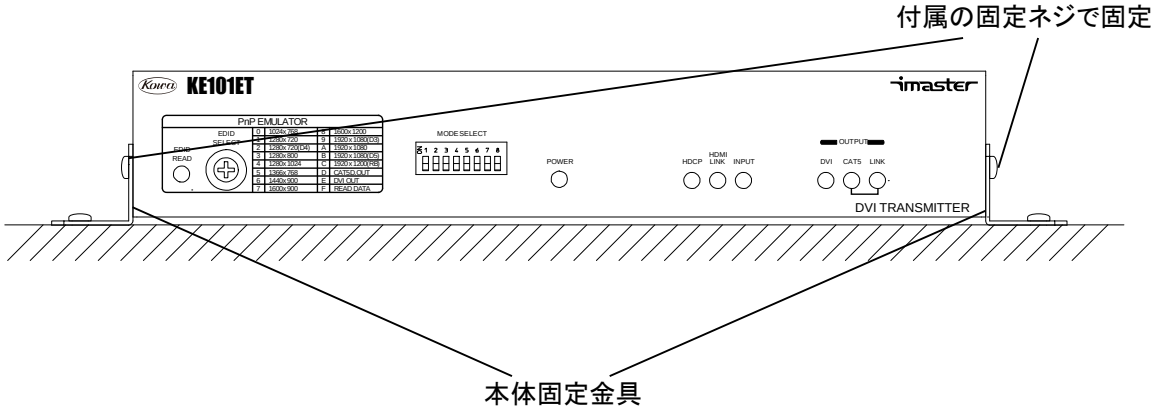
7. 本製品の固定について

ラックマウント金具(型名 : KE2-M1、KE2-M2)を使用することにより、1U のスペースに本製品を最大 2 台設置することができます。ラックマウント金具はオプションとなっております。ご注文される場合は当社営業部、または代理店までお問い合わせください。

また、本製品には DC プラグ固定金具が付属しており、これを使用して DC プラグを本体に固定することができます。以下の取り付け例を参考に DC プラグを固定してください。



本体を平らな場所に置いて使用する場合は、付属のゴム足を本体底面に貼り付けて使用してください。また、本体を平面に固定する場合は、以下の取り付け例を参考に本体固定金具を用いて設置面に固定してください。



特に本体の固定の必要がない場合は、付属のゴム足を本体底面に貼り付けてご使用ください。

8.仕様

型名	KE101ET
入力信号	DVI/HDMI INPUT:1 系統 RS-232C(双方向):1 系統 LAN(Ethernet):１系統
出力信号	DVI/HDMI OUTPUT:1 系統 CAT5 D.OUT:1 系統（当社製ツイストペアケーブル受信器に接続します）
入出力コネクタ	CAT5 D.OUT、LAN:RJ-45 コネクタ DVI/HDMI INPUT/OUTPUT:DVI-I コネクタ（アナログ信号線は未接続） RS-232C:DSUB9 ピン（インチネジ　オス座）
DVI	Rev.1.0 シングルリンク
HDMI	DeepColor、3D 対応　ARC、HEC、CEC 非対応
ピクセルクロック	25～165MHz
HDCP	Rev1.4
出力先最大接続数	16(DVI/HDMI 出力、及びツイストペアケーブル受信器に接続できる HDCP 対応製品の合計台数)
EDID エミュレータ	26 種類の DVI/HDMI EDID データを内蔵、EDID 読み取り機能搭載
RS-232C	38,400bps 以下
LAN	通信速度 10/100Mbps、Auto MDI/MDI-X に対応
最大延長距離	100 m (1080p、WUXGA(Reduced Blanking)、UXGA　通常モード時)※1 150 m (1080p/60Hz/24bit 以下　長距離モード時)※1 180 m (720p/60Hz/24bit 以下　長距離モード時) ※1
使用温湿度条件	温度:0～40℃　相対湿度:20～80%(結露しないこと)
電源電圧	DC5V(専用 AC アダプタ付属)
消費電力	約 7W
外形寸法	W210×D90×H36(mm) (コネクタ等突起物を含まず)
質量	約 700g(専用 AC アダプタを含まず)

※1 最大延長距離は使用ケーブルや環境によって変わりますので、保証するものではありません。また、CAT5e(UTP)ケーブルでの動作保証はできません。

以下のケーブルで最大延長距離の伝送を確認しております。

当社確認済みツイストペアケーブル		
メーカー	規格	型名
岡野電線	CAT5e(STP)	OKTP-E5-0.5X4P-SA
	CAT6(UTP)	OKTP-6-AWG24X4P

9. こんなときは

現象	確認事項	確認箇所	確認事項
映像が映らない 音声が聞こえない	電源	専用 AC アダプタは接続されていますか？	本体の POWER LED が点灯していることを確認してください。
	DVI 入力/出力	接続を確認してください。	本体の HDCP LED が点灯、または点滅していますか？
	ツイストペアケーブル	接続を確認してください。	本体の LINK LED が点灯していることを確認してください。
		束ねていませんか？	ケーブルを束ねる場合は、STP ケーブルを使用してください。
	伝送信号 解像度	伝送信号の解像度を 確認してください。	本体の設定が長距離モードであるとき、DeepColor の 1080p 信号、UXGA、WUXGA(Reduced-Blanking)解像度の映像信号の伝送はできません。
RS-232C 通信ができない	電源	専用 AC アダプタは接続されていますか？	本体の POWER LED が点灯していることを確認してください。
	RS-232C ケーブル	接続ケーブルの種類を確認してください。	用途に合わせてストレートケーブル、クロスケーブルを使用してください。本製品は、PC-プリンタ/モデム間をストレートケーブルで接続する設計となっております。
LAN 通信ができない	電源	専用 AC アダプタは接続されていますか？	本体の POWER LED が点灯していることを確認してください。
	LAN	LAN コネクタの LED は点灯していますか？	LAN が正常に接続された場合は、LAN コネクタの緑色の LED が点灯/点滅しますのでご確認ください。
		本製品に接続する機器の IP アドレスは正常に設定されていますか？	LAN で通信を行う場合は、接続する機器の IP アドレス、サブネットマスクを正しく設定する必要があります。これらの設定を確認し、PING で通信状況を確認してください。

興和光学株式会社

東京営業：〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-11-1　TEL. (03) 5651-7091　FAX. (03) 5651-7310
大阪営業：〒541-8511　大阪市中央区淡路町 2-3-5　TEL. (06) 6204-6185　FAX. (06) 6204-6330

V1.0/2014/04/17

※製品の仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。